

# デモルフォセカ(オステオスペルマム)

花レポ

## 管理と楽しみ方

03

### <デモルフォセカの特徴>

- キク科の宿根草です。
- 熱帯アフリカ原産で別名「アフリカンデージー」や「ドイツギク」とも呼ばれ、可憐な花を次々に咲かせます。
- 花色は白・桃・紫・オレンジ・黄など豊富で、花型もスプーンのような花弁を持つ品種もあります。

### <楽しみ方のポイント>

- 良い苗の選び方…  
徒長せず、締まっており、つぼみ数が多い苗が良い苗です。下葉が無いものや枯れ上がったもの、黄変したものは避けた方がよいでしょう。
- 植付け場所…  
日当たりが良く、排水の良い場所に植付けましょう。-5℃ぐらいの低温には充分耐えるので、戸外で越冬が可能です。
- 水やり…  
土が乾いたら十分に水やりをします。過湿は根腐れの元になりますので注意して下さい。
- 管理…  
冬期を除いて1ヶ月に1回、1株あたり1つまみ程度固形肥料を追肥してやると丈夫な株に育ちます。  
すべての花が終わった頃、1/3程度の高さに刈込み、新しい芽を吹かして下さい。来年の春からまた花を楽しむことができます。
- その他…  
挿し木で増やせます。9～10月が挿し木の適期です。

### <得する豆知識>

- 花は日中開き夜閉じます。
- デモルフォセカの中にはわずかですが甘い芳香性がある品種もあります。
- 花言葉：「忍ぶ恋」

